

突発不良対策セミナー



HH比較分析とは

目的: 工程で発生した突発原因を最短で発見し対策する方法

方法: 事実を洗い出す

A: 発生していること

B: 発生していないこと

AとBの成り立つ原因を突き止める

思い込みによる対策のムダがなくなる

結果: 直接の原因の対策

事実の整理

問題を記載する

どんなものにどんな現象があったのかを記載する
A会議室に"停電"が発生した原因を究明する

問題を詳しく分類する	A: 発生していること	A': 発生していないこと(Aが発生すれば発生しても不思議でないことは何か?)
どんなものに何があったのか	① 対象物 A会議室の停電 A会議室のブレーカが遮	非常灯 B会議室のブレーカが遮
	② 違いは? 電灯・プロジェクターの消灯	破損
どこで発生し、どの部位か	③ どこで 会社のA会議室	会社のB会議室
	④ どの部位で天井の蛍光灯 6灯、プロジェクター1台 天井の蛍光灯 6灯、プロジェクター1	天井の蛍光灯 1灯 プロジェクターのみ点灯

変更点・変化点の整理

変更点・変化点は何ですか?

変更点(現物)の異なることは?(特徴は?)	変化点(時間)で変化したことは? 変化が起きた日時は?
— 経営会議ではプロジェクターとOHP使用	10分後に発生
プロジェクターの場所 電源コードの場所 台車の場所	プロジェクターの場所 電源コードの場所 台車の場所

原因のしぼりこみ

推定原因

たくさんの推定原因から原因をしぼりこむ

A	変電所に落雷があり送電できなくなった
B	A会議室のブレーカが過電流のために遮断した
C	蛍光灯のガラスにヒビが入った
D	プロジェクターが漏電していた
E	プロジェクターの電源ケーブルの絶縁被覆が破けていた